

第2号様式(第7条関係)

平成22年度政務調査費収支報告書

会派名 日本共産党








1 収入
政務調査費 900,000円

2 支出 812,060円

(単位 円)

科 目	金 額	主たる支出の内訳
研究研修費		
調査費	1,000	足立区視察
資料作成費		
資料購入費	8,400	資料購入代(区画・再開発通信)
広報費	706,885	市政報告、用紙、印刷、折込代
広聴費		
通信費	90,000	FAX等通信費
事務費	5,775	コピー用紙代
その他の経費		
合計	812,060	

3 残額 87,940円

議長	副議長	事務局長	次長	係長	係長	係
						
備考						

会派研修終了報告書

研修日	423, 2, 10
研修先	足立区若者サポートステーション
主要調査 研修課題	「青年の雇用対策について」 足立区若者サポートステーションでの若い人たちの就職支援のとりくみについて調査を行った。
研修終了報告	2006年4月に国の経済対策の補助金を使い若者サポートステーションのとりくみが始まりました。足立区 ^{産業} 経済部のとりくみ
	NPO法人が運営しています。多くの実績をあげ全国的にも有名な施設です。若者の就職活動に対する様々なプログラムを作っています。就職活動セミナー、キャリアカウンセリング、連年の蔵舞台裏など
	地元の企業の協力を得て若者が働く訓練をする機会を作るなど多くのプログラムの用意にあられ ています 。
	若い人にも参加しやすいような明るいスペースをもち若者の居場所にもなっています。
	失業やひきこもりになっている若者など対象となる人を見とサポートステーションの参加
	最終的に就労や自立、他の機関へつなげるまでの包括的な支援体制をもちと持ちながら
	とりにくんでいるということがわかりました。国や都の補助もあるので市としてもとりにくみは可能ではないかと考えます。
参加者 氏名	多羅尾 治子

稲城市議会議長

川島 やすゆき 殿

上記のとおり、会派研修を終了しましたので報告します。

平成 23 年 3 月 8 日

会派名 日本共産党稲城市議団

氏名 多羅尾 治子

